



DataScientist Society

データサイエンティストの 採用に関するアンケート調査結果

2019年11月

一般社団法人 データサイエンティスト協会

調査・研究委員会

データサイエンティストの採用に関するアンケート

調査対象 : 日本国内一般企業（人事担当者向け）
※従業員30名以上の企業を対象に、
企業規模別にランダム抽出

調査手法 : 郵送法

調査期間 : 2019年8月21日～10月8日

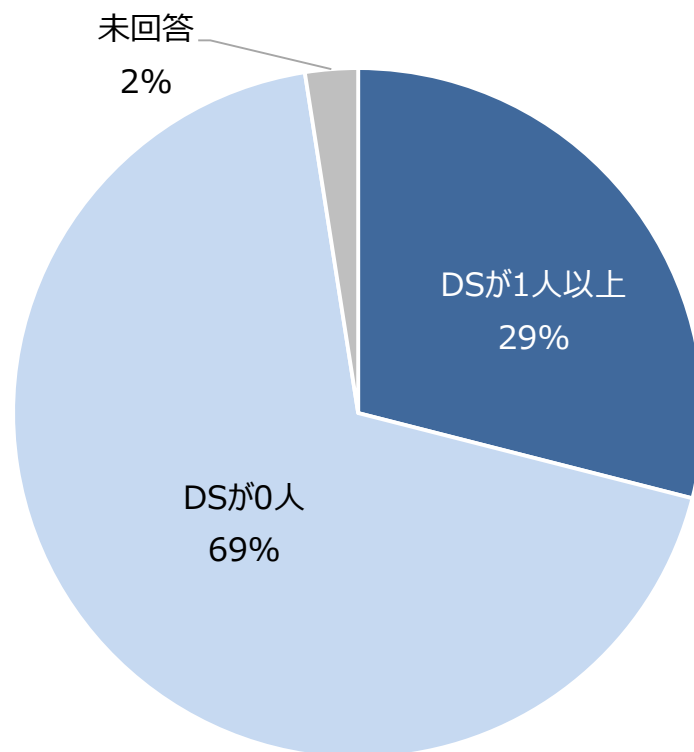
有効回答数 : 計283社（発送5,435社、回収率5.2%）

注：本調査資料の百分率表示は小数点以下を四捨五入しているため、
合計しても100%とならない場合がございます。

データサイエンティストが1人以上いる会社は全体の29%

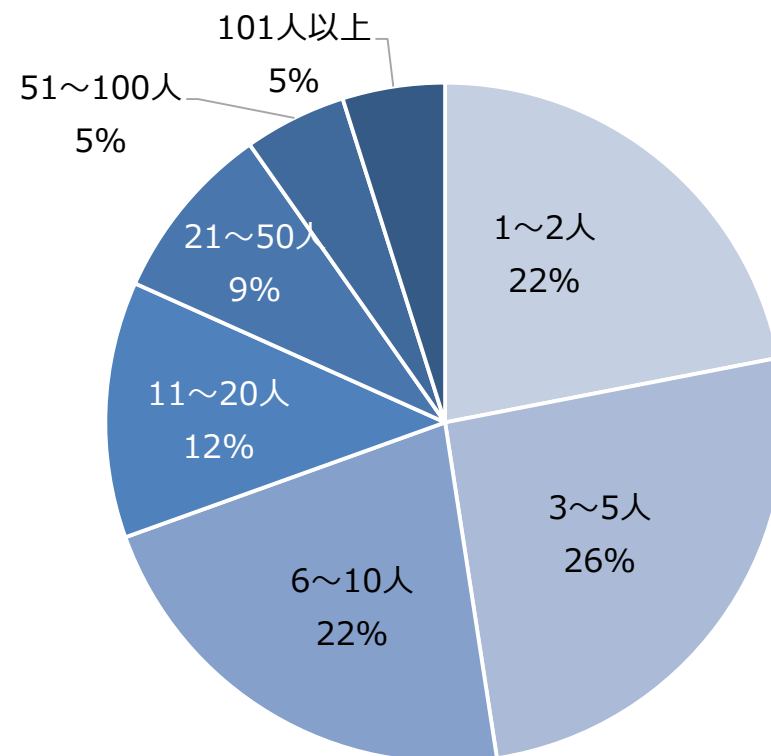
Q. 貴社にはデータサイエンティストは何名いらっしゃいますか。

2019年4月時点



全企業対象 n=283

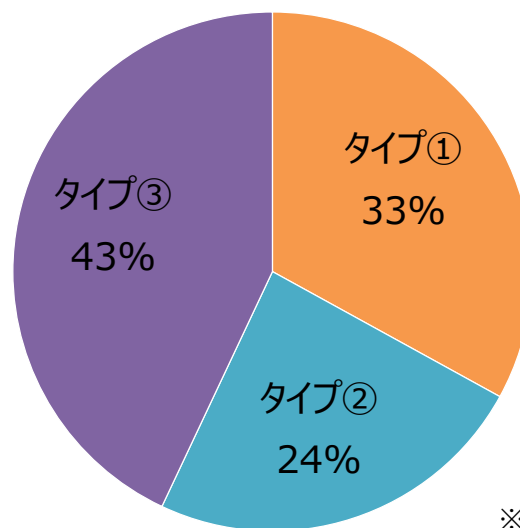
在籍者数内訳



データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(n=82)

在籍しているデータサイエンティストをタイプ別で分類するとエンジニアタイプが最も多い

Q. 貴社のデータサイエンティストについて、タイプ別の内訳をお答えください。



※各社のタイプ別人数比率の平均値

データサイエンティスト在籍者が1人以上で、タイプ別の回答があった企業(n=70)

タイプ①

ビジネス課題を抽出し、データを分析・活用して課題を解決できる人材
(職種名の例：データマーケターなど)

タイプ②

統計学、人工知能などの情報科学系の知識を理解し、統計ソフトなどを用いた専門的な分析ができる人材
(職種名の例：データアナリストなど)

タイプ③

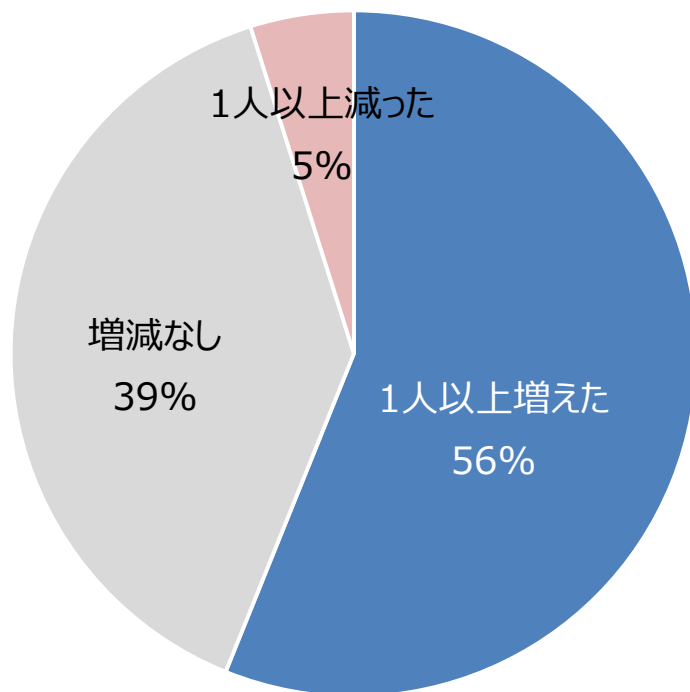
データ分析を目的とし、プログラミング知識を使ってデータの収集、加工やシステムへの実装、運用ができる人材
(職種名の例：データエンジニアなど)

データサイエンティスト人材の増減と内訳

**この1年でデータサイエンティストを増やした企業は56%
増やした人数の多くは、社内の異動・育成によるもの**

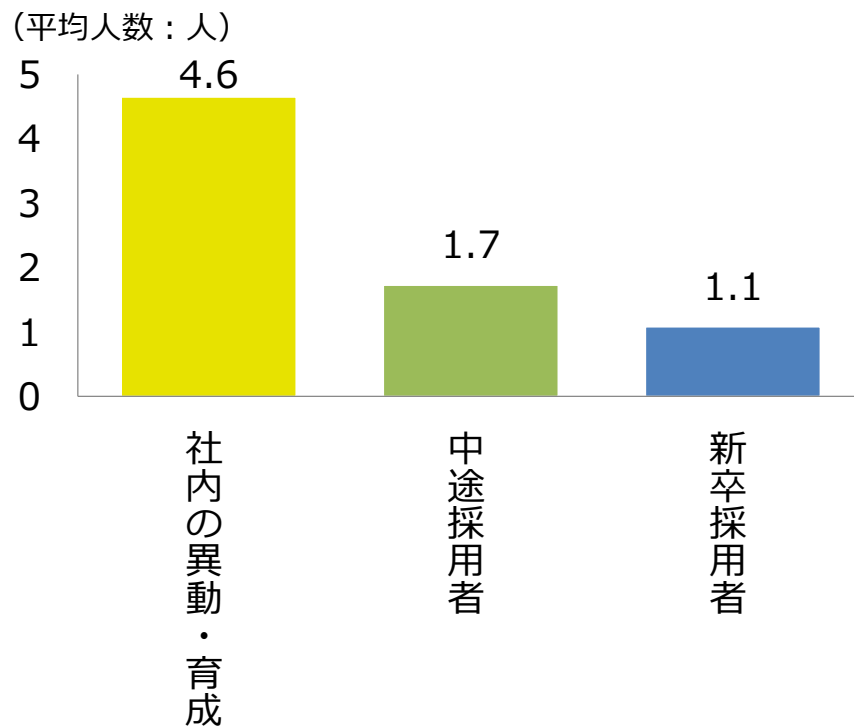
Q. データサイエンティスト人材の増減と、増やした人数の増員方法をお答えください。

直近1年間でのデータサイエンティストの増減



データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(n=82)

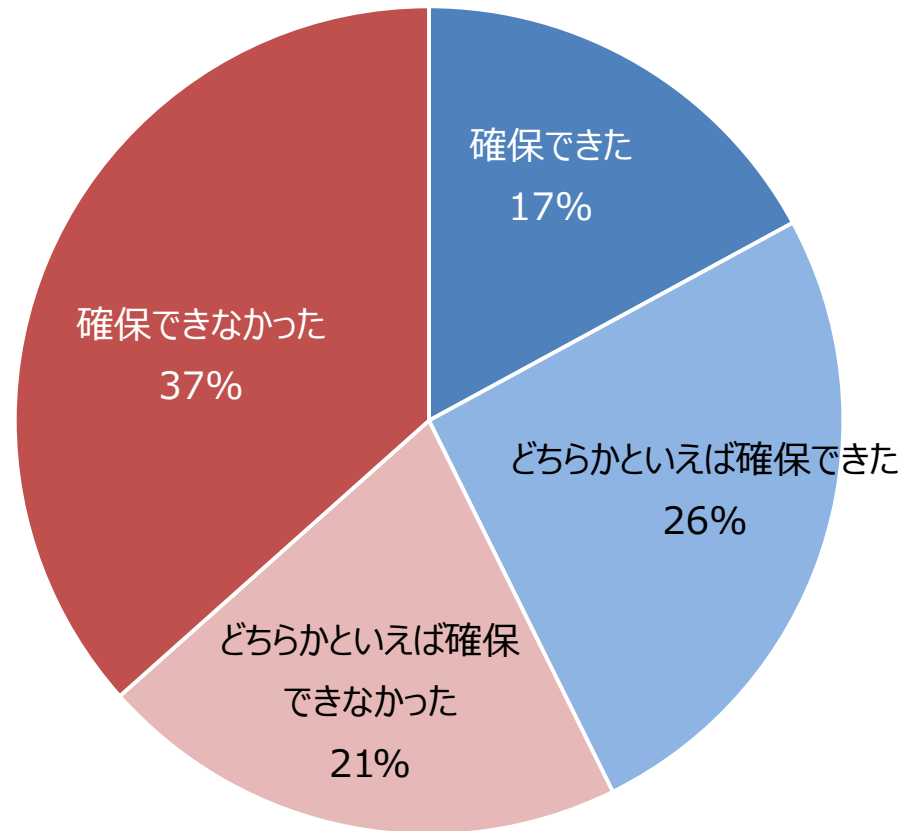
直近1年間で増えたデータサイエンティストの内訳



データサイエンティストの在籍者が1人以上で、
直近1年間で1人以上の増員があった企業(n=52)

DSを採用しようとした企業のうち「目標としていた人数を確保できなかった」企業が58%

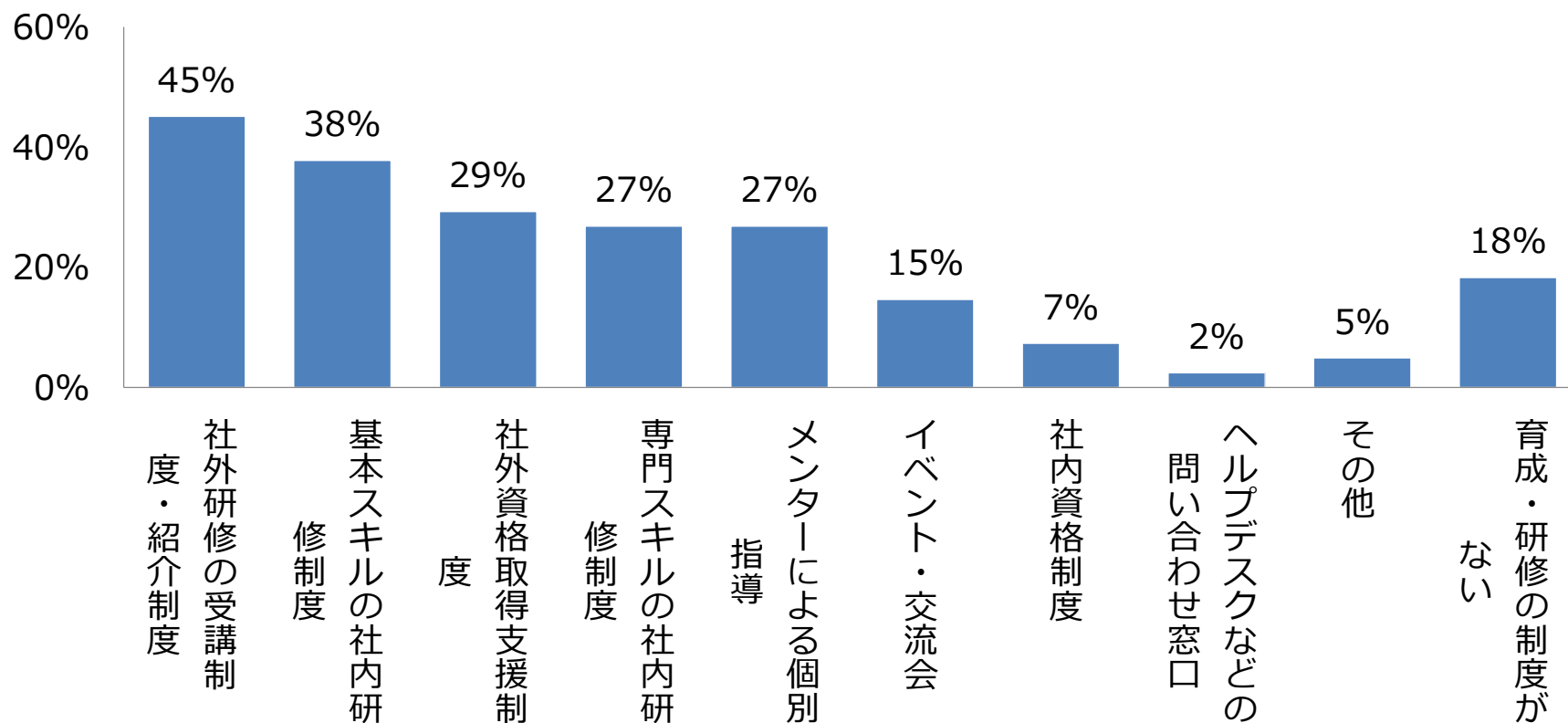
Q. この1年間で、貴社が目標としていた人数のデータサイエンティストを確保できましたか。



この1年間でデータサイエンティストを確保する予定だった企業 (n=82)

育成・研修制度としては、社外研修支援と社内研修が多い一方で、育成・研修の制度がない企業も18%ある

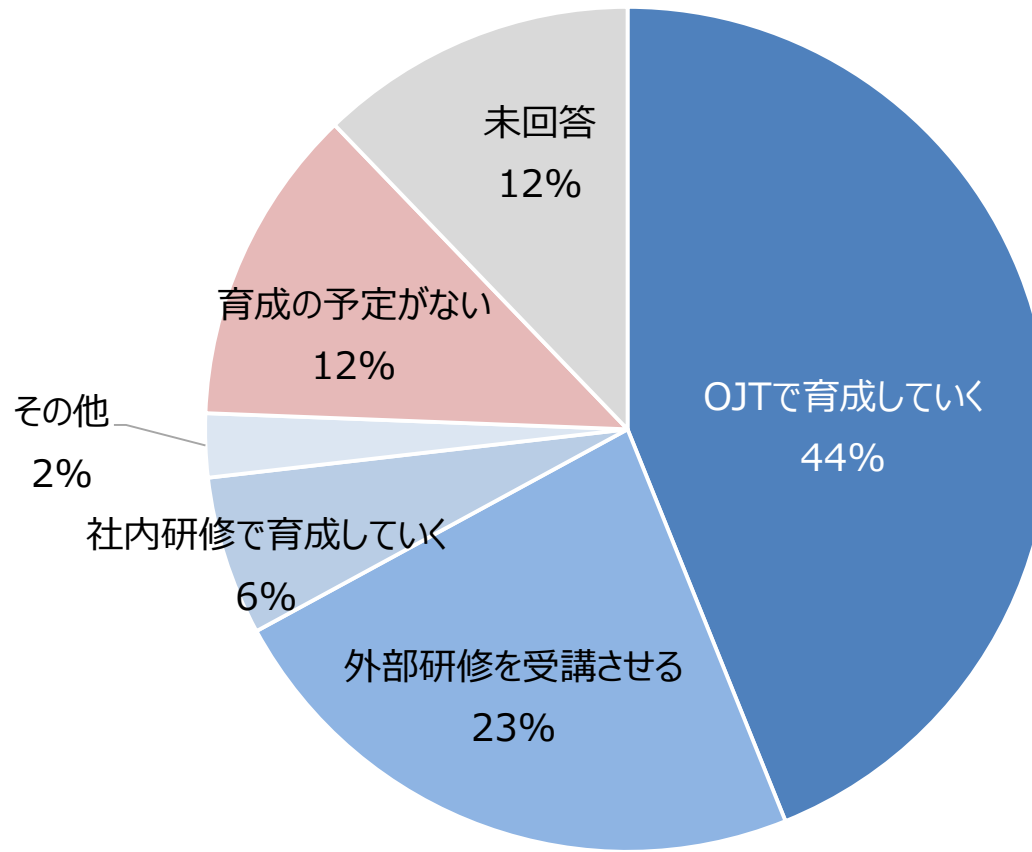
Q. データサイエンティスト人材の育成・研修の制度として貴社内にあるものをすべてお答えください。



データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(n=82)

データサイエンティストの人材育成方針で、最も重視することは、OJTが44%と最多

Q. データサイエンティスト人材育成方針として最もあてはまるものをお答えください。

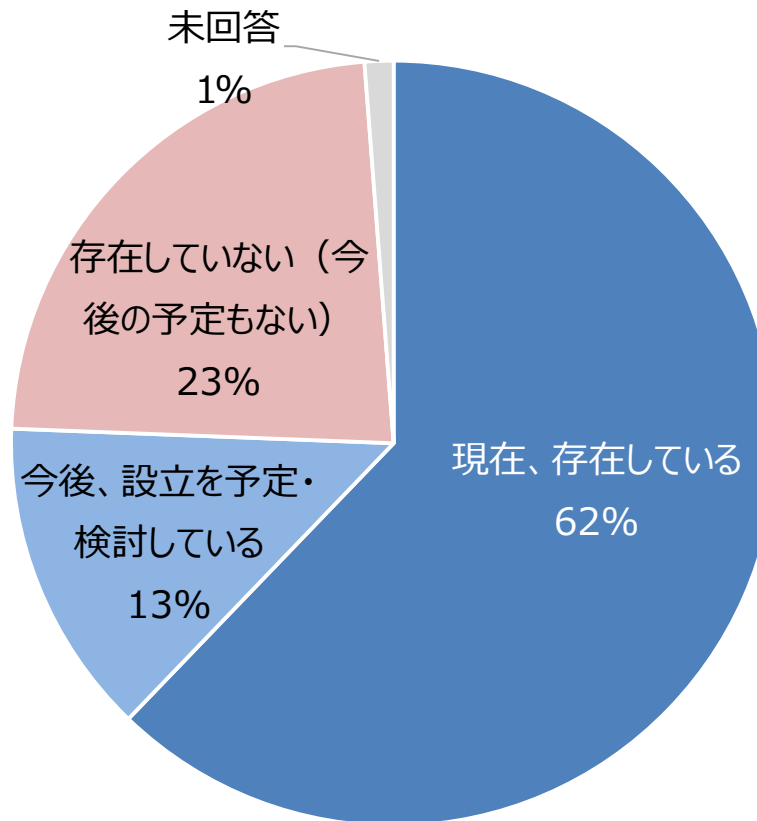


データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(n=82)

データサイエンスに関する専門部署・チームの存在

**62%の企業がデータサイエンスに関する専門部隊を持つ
また、13%の企業は今後、設立を予定・検討している**

Q. 貴社では「データサイエンス」に関する専門の部署やチームがありますか。



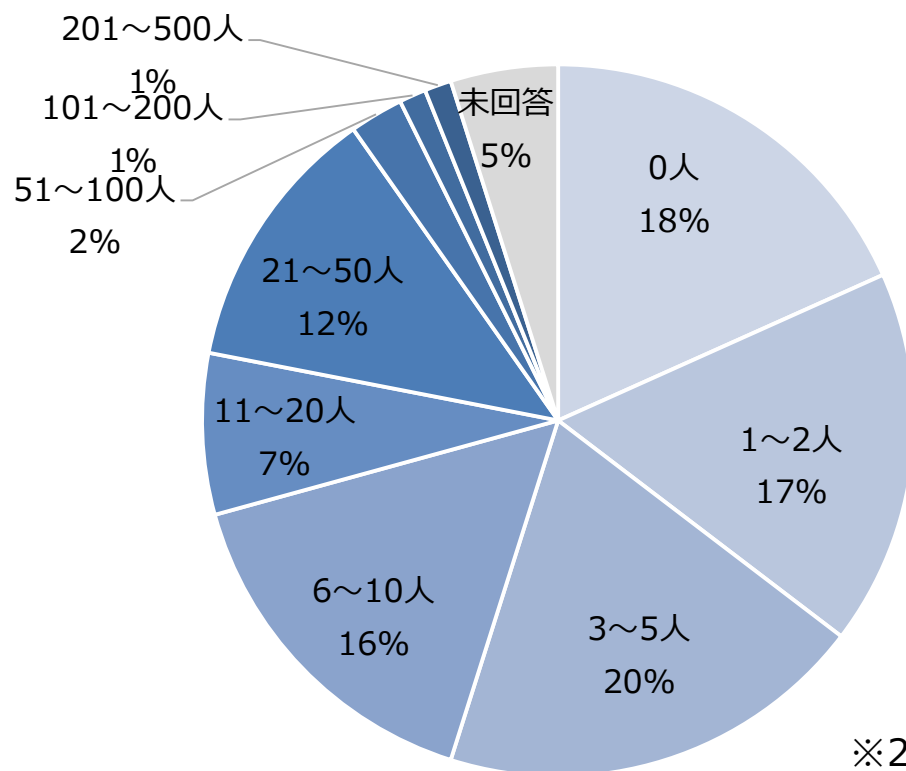
データサイエンティスト在籍者が1人以上の企業(n=82)

今後3年間で増員したいデータサイエンティスト人数

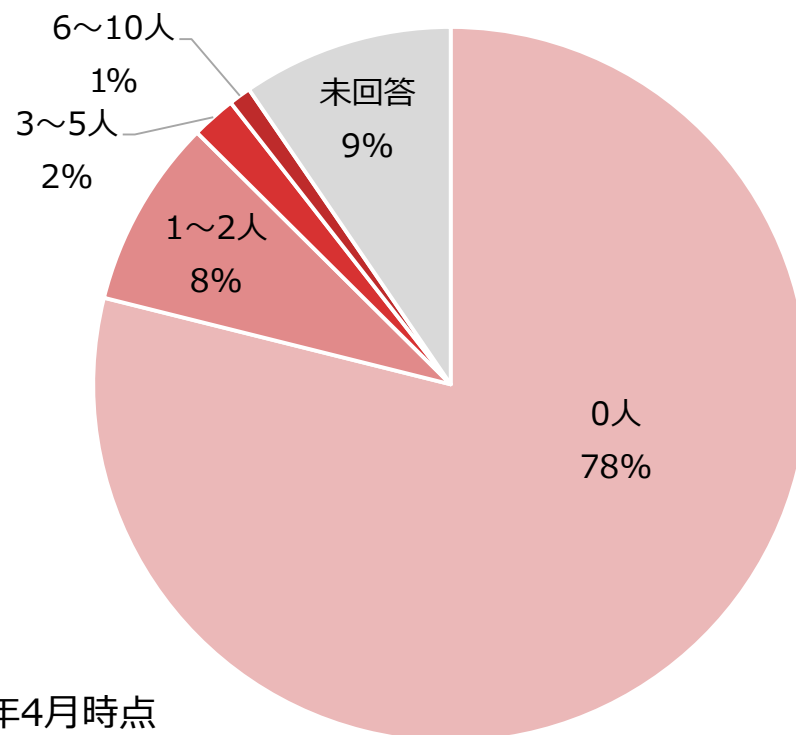
今後3年間でさらにDSを増やしたいのは、DS在籍企業の77%、DSがいない企業でも11%は新たに獲得したい

Q. 今後3年間で、データサイエンティストを何名程度増やす予定ですか。

データサイエンティスト在籍者1人以上企業(n=82)



データサイエンティスト在籍者0人企業(n=201)



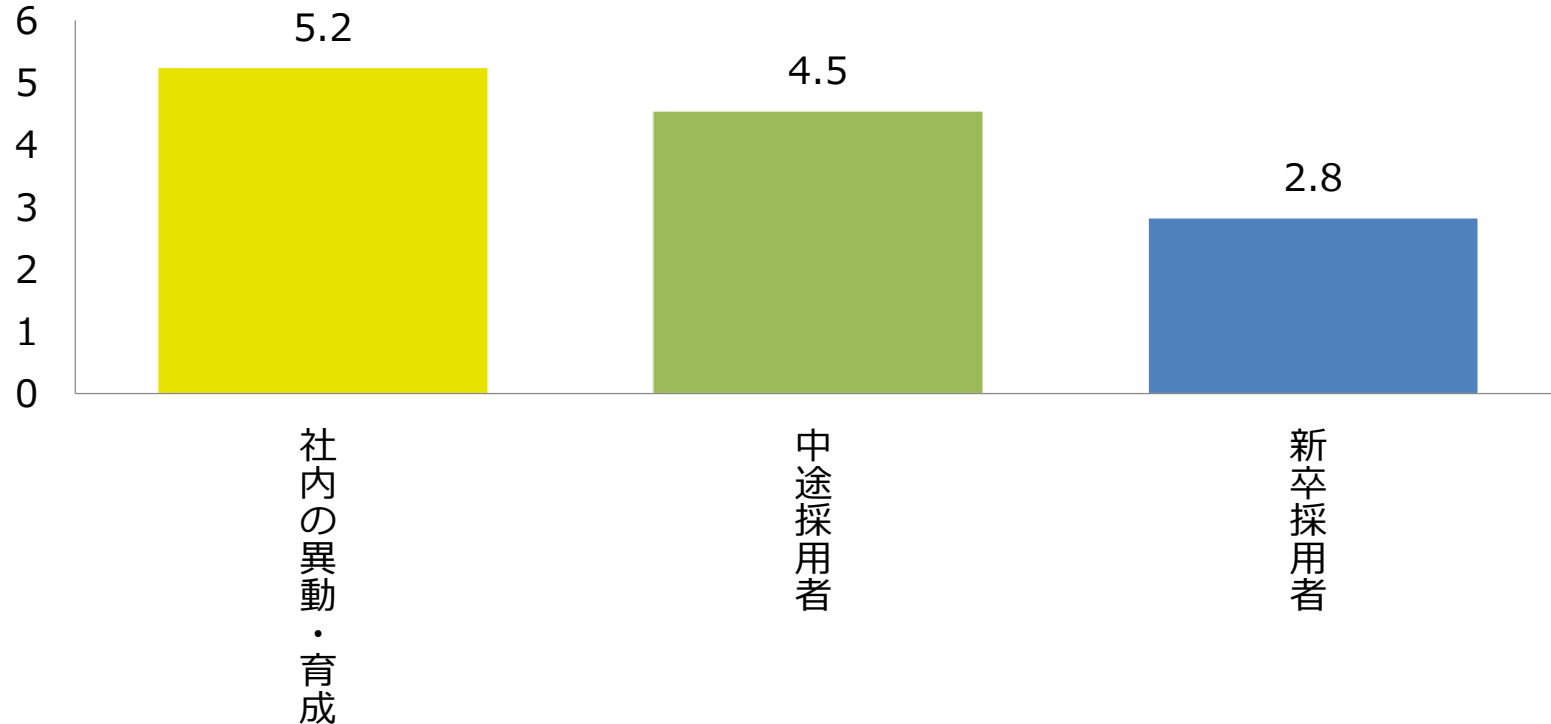
※2019年4月時点

今後3年間で増員したいデータサイエンティストの内訳

増やすための手段としては、社内の異動・育成が最も高いが、中途採用や新卒採用のニーズもある

Q. 今後3年間で、データサイエンティストを何名程度増やす予定ですか。増員方法別にお答えください。

(平均人数：人)

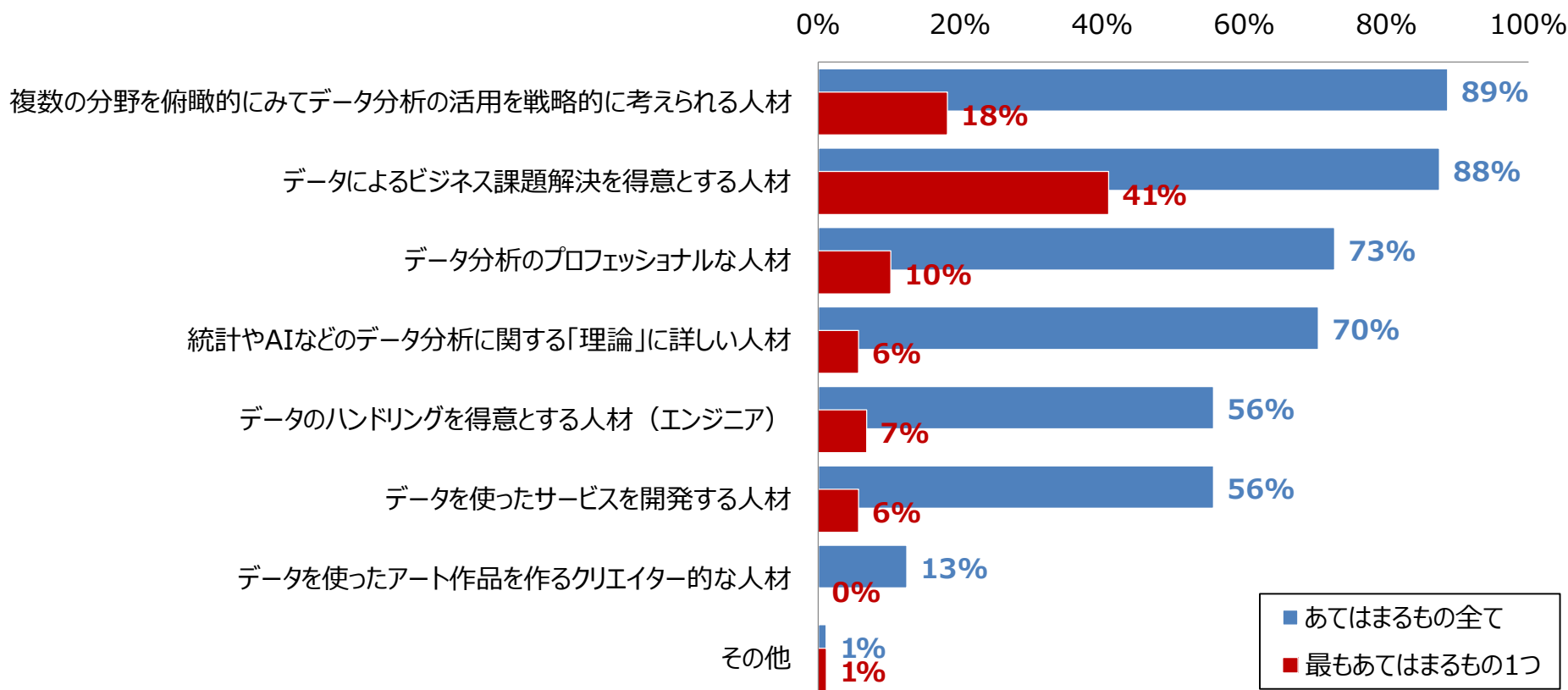


今後3年間で、データサイエンティストを1人以上増員予定の企業(n=88)

今後3年間で増員したいデータサイエンティストの人材像

人材像としては「ビジネス課題解決」「戦略検討」スキルを持つ人材が求められている

Q. 今後3年間で、貴社が採用・育成したいデータサイエンティストの人材像をお答えください。

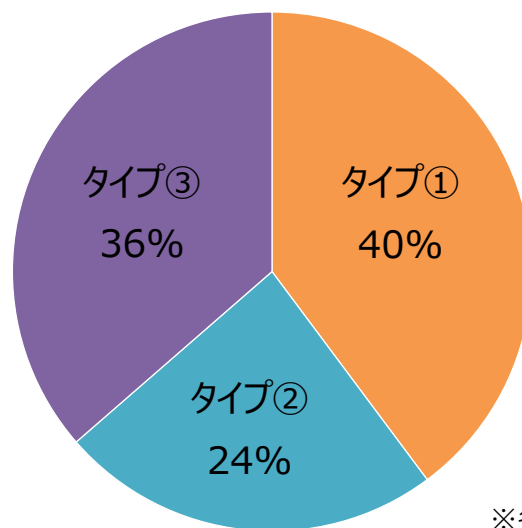


今後3年間で、データサイエンティストを1人以上増員予定の企業(n=88)

今後3年間で増員したいデータサイエンティストのタイプ別内訳

今後増やしたいDSのタイプとしては、マーケタータイプが最も多いが、エンジニア、アナリストのニーズもある

Q. 今後3年間で、データサイエンティストを何名程度増やす予定ですか。タイプ別にお答えください。



※各社のタイプ別人数比率の平均値

今後3年間でデータサイエンティストを1人以上増員予定の企業で、タイプ別の回答があった企業(n=71)

タイプ①

ビジネス課題を抽出し、データを分析・活用して課題を解決できる人材
(職種名の例：データマーケターなど)

タイプ②

統計学、人工知能などの情報科学系の知識を理解し、統計ソフトなどを用いた専門的な分析ができる人材
(職種名の例：データアナリストなど)

タイプ③

データ分析を目的とし、プログラミング知識を使ってデータの収集、加工やシステムへの実装、運用ができる人材
(職種名の例：データエンジニアなど)

データサイエンティストは、近年増加しているが、企業側から見ると依然不足している

- ✓ データサイエンティストが1人以上いる企業は29%
- ✓ DS在籍企業の56%が直近1年間でデータサイエンティストを増やしている
- ✓ DSを「目標としていた人数を確保できなかった」企業は58%

人材育成方針はOJTが中心、データサイエンスの専門組織を持つ企業も多い

- ✓ 人材制度としては、社外研修支援と社内研修を整備している企業が多い
- ✓ 人材育成方針としては、OJTが44%で最も重視されている
- ✓ DS在籍企業のうち62%がデータサイエンスの専門組織を持っている

求めるデータサイエンティスト像は、ビジネス課題解決や戦略検討が得意な人材

- ✓ DS在籍企業の77%が増員を予定、DS非在籍企業も11%が新規獲得を検討
- ✓ 「ビジネス課題解決」「戦略検討」スキルを持つDS人材を求めている
- ✓ 今後増やしたいDSのタイプとしても、マーケタータイプが最も多い